

水戸教育事務所だより

すぐ寄り添う事務所～「転ばぬ先の杖」として～

第30号

2024年 3月18日

8.8%

特別支援教育の重要性高まる

2市町がオンラインで研修を発信！



2022年12月に発表された「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」では、小中学校の通常の学級に在籍する児童生徒のうち、8.8%が「学習面又は行動面で著しい困難を示す」と明らかにされています。児童生徒の自立と社会参加に向けて、特別支援教育の重要性はますます高まっています。

このような中、小美玉市と那珂市は、市町村内の教職員を対象とした研修でなく、オンラインを活用して水戸教育事務所管内に向けて研修会を開催しましたので紹介します。

那珂市特別支援教育に係る研修会（令和6年1月26日 那珂市中央公民館）

困難を克服する自立活動等を学ぶ

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する支援の充実を図るため、茨城大学教育学部教授新井英靖先生を講師に、他市町村の担当者も参加できる研修会を開催しました。「学校に期待する特別支援教育」として、障害による学習上・生活上の困難を改善・克服する自立活動等について講話をいただきました。特に、自閉症児の特性や指導法について、具体例を交えて丁寧に解説していただきました。

那珂市教育委員会久保田善徳指導主事は、「理論的な内容だけでなく生活場面の中で具体的に指導する内容についてもご指導いただき、大変参考になった。参加した先生方が頷きながら聞いていた。」と話しました。



茨城大学
新井教授の講義

企画・運営した
久保田指導主事

「巡回型」通級指導実践研究 第4回地域別運営協議会（令和6年2月27日 小美玉市小川総合支所）

新規事業：巡回型通級指導のモデル事業を成果発表

小美玉市は、今年度、茨城県の指定を受けて、巡回型通級指導のモデル事業を実践してきました。1年間の成果として発表を行い、広く他市町村の担当者も参加しました。

拠点校として小美玉市立小川南小学校の田中恭子教諭が通級指導を担当し、市内3つの学校を巡回訪問し言語の指導を行いました。様々な調整は各学校の特別支援教育コーディネーターが担い、新規事業でしたが、市教育委員会が運営と調整を行うことでスムーズに進めることができました。

また、通級指導スーパーバイザーとして茨城大学教育学部助教石田修先生に年間を通して助言をいただきました。当日も「構音障害のある子どもに対する配慮・支援について」講義をいただきました。

小美玉市教育委員会三輪輝子副参事兼指導主事からは、「今回の事業をとおして、巡回型通級指導のよさを実感することができました。今後、より充実を図っていきたい。」と話がありました。



田中教諭の実践報告



石田助教の講義

【研修資料及び動画】

上記の資料については、教育情報ネットワーク上にて共有いたします。

教育情報ネットワークポータルシステム 文書共有 > 11_水戸教育事務所 > 学校教育課 > 特別支援教育 > R5

ドライブURL：<https://drive.google.com/drive/folders/1pMgC72ZK3GwkhiaCpb7K0mXQHSQZg-i1>